

<b>タイトル</b> (活動概要)	<b>48 認め合いペア音読</b>	<b>アプローチ</b> (関連する力)		「自分づくり」③ 「仲間づくり」⑭	
<b>タイミング</b> (実施時期)	通 年	<b>活動</b> <b>場所</b>	教室	<b>所要</b> <b>時間</b>	10～20分 (教材の長さによる)
<b>対象学年</b>	幼・ <input type="checkbox"/> 小低・ <input type="checkbox"/> 小中・ <input type="checkbox"/> 小高 中1・中2・中3・高	<b>対象</b> <b>規模</b>	学級	<b>活動</b> <b>場面</b>	国 語
<b>活動の</b> <b>ねらい</b>	<p>〈背景〉群れ合い体験の不足から、生活のなかでは互いに認め合う機会が少なくかわりが少ない子どもたちがいる</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>音読を相互に聴きあい、いいところを評価し合うことにより、日常接することの少ない子どもどうしも、認め合うという経験をもつ</li> </ul>				
<b>準 備</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>音読カード ・ 国語教科書</li> <li>ペアをつくるくじ (マグネットのネームプレートでランダムにペアを作るとよい)</li> </ul>				
<b>学 習 ・ 活 動</b>		<b>支援の観点・留意点等</b>			<b>資料等</b>
<b>1 導入</b> (最初の活動のときだけ) <ul style="list-style-type: none"> <li>一人の子の音読をみんなで聴き、音読のいいところさがしをする</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>事前に、一人での音読や、保護者や教師に聴いてもらう音読を十分に行い、一人残らず全員があまりつかえずに教材文を音読できるようにしておく</li> </ul>			一人で取り組む音読カード (事前学習用)
友達の音読のいいところやがんばったところをみつけよう					
<b>2 主活動</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>くじ引きなどで、ペアをつくり、互いに音読を聴きあう</li> <li>ペアで音読を聴きあい、音読カードに相手の音読の評価を書き込んだり、感想を書いたりする</li> <li>相手の書いてくれた音読カードを受け取る</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>教材文が長い場合は、二人で半分ずつ読むなど、時間的に無理のない形にする</li> <li>本人が見たあとに教師が回収し、ひと言添えたり、いい内容のものを紹介したりする</li> <li>その時間の終わりにすぐに紹介できるものがあれば紹介するが、後日でもいい</li> </ul>			ネームプレート  音読カード
<b>3 ふり返り</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>相手の音読のいいところやがんばったところを的確に書いた例を紹介したり、書いてもらった子の感想を発表したりする</li> </ul>					
<b>配慮事項</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>音読が苦手な負担が大きくなる子どもがいる場合は取り組まない</li> <li>いいところやがんばったところをみつけるという目的を徹底する</li> <li>この活動の前までに教師が子どもの音読のいいところやがんばったところを数多く指摘することにより、子どもが相互にプラスの評価をする観点を持てるようにする</li> <li>一度だけでなく、何度も違うペアで行うことにより、多くの子とかかわれるようにする</li> <li>「詩」などの短いものや、スピーチ原稿などの発表練習などに活用することもできる</li> <li>ペアだけでなく、4人程度のグループで行うこともできる</li> <li>ランダムにペアを作るのではなく一定期間、同じペアで認め合うようにする方法もある</li> </ul>				

# 音読カード(個人学習用)

(教材名)

年 組 ( )

何 回 目	やった日	読んだ範囲 (p〇の〇行目～p 〇の〇行目) 全部のときは全部と 書く	漢字が全部読 めたか	はっきりした 声で読めたか	あまりつかえ ずに読めたか	意味を考えな がら読めたか
1						
2						
3						
4						
5						

×……あまりできなかった △……まあまあできた ○……できた ◎……かんぺきです

# 音読カード(認め合いペア音読用)

(教材名)

(自分のめあて)

年 組 ( )

何回目	やった日	読んだ範囲	聴いてくれた人	聴いた人が見つけた「いいところ」や「がんばったところ」など
1				
2				
3				
4				
5				